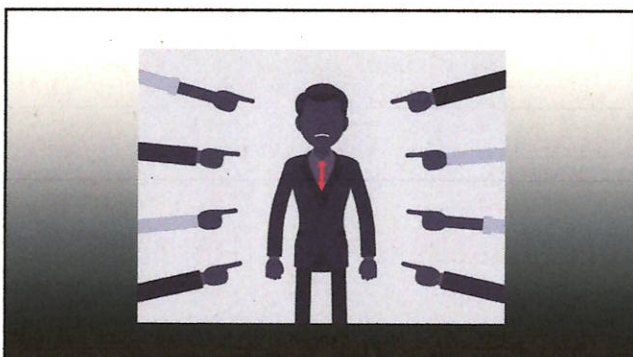
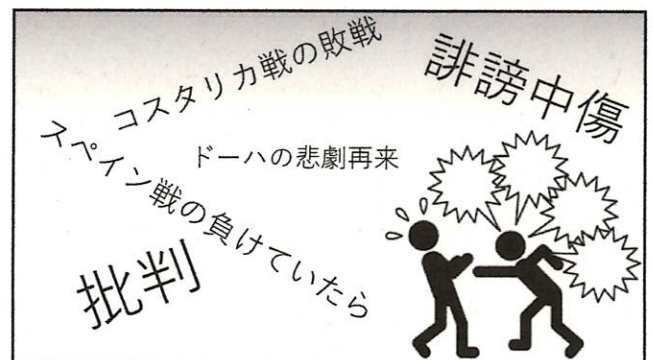




サッカーW杯 日本代表の試合結果

|        |     |       |       |
|--------|-----|-------|-------|
| 11月23日 | ドイツ | 1 - 2 | 日本    |
| 11月27日 | 日本  | 0 - 1 | コスタリカ |
| 12月2日  | 日本  | 2 - 1 | スペイン  |

(日本時間)





いじめ、SNSの誹謗中傷は  
絶対にやってはいけないこと

みんなは、わかっている!!

今日の話は、そこではないんだ...

今日、話したいことは  
もう少し、  
「根本・本質的なところ」



本質 「敬意」「尊重」「配慮」



ビデオを視聴  
令和4年11月1日  
「人権教室」  
(1年生対象)

神奈川県鎌倉市立御成中学校  
3年 坪井 洸 (平成24年度)



RESPECT OTHERS.

どうでしたか?  
あなたの感想は?







11月1日

1年生の人権教室が終わった時に  
ALTのジェイコブ先生に聞いてみた？

アメリカ（私が住んでいたところ）では、「リスペクト アザース」をよく聞きました。先生たち大人は、様々な場面で「リスペクト アザース」と話していました。

アメリカはもともと移民の国、様々な人種が一緒に生活をしています。歴史上、深刻な人種差別などがありました。



日本の生活で感じること...

日本は、けんかやトラブルなどがあった際、「お互い謝りなさい」、「悪い方が謝りなさい」と指導することが多いと感じています。  
アメリカは違います。『その行為に至った自分の考えに相手に対する尊重が足りないのだと』まず、その部分を指導されます。

RESPECT OTHERS.

日本語に訳すと、「他の人のことを尊重しなさい」というような意味になりますが、「意地悪しないでみんな仲良くしなさい」とか、「いじめはダメ」というその時の行動や言動を注意するのではなく、その行動を起こしてしまった「根本」の考え方を問題にしていることがわかりますね。



「尊敬」「畏敬の念」

誰かと比べて秀でている人たちに対する「すごい!!」「尊敬に値する!!」といった気持ちで表現されることがありますが...

これは、本来の意味とは少し違います



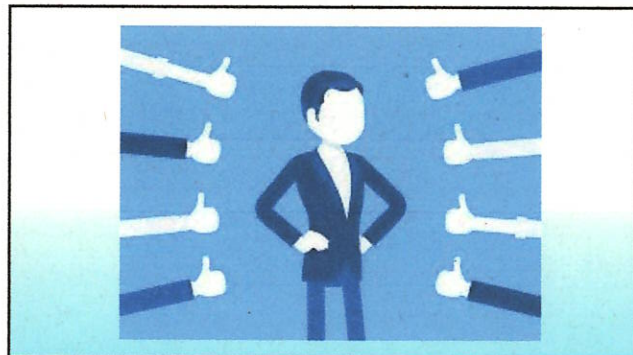
ダレン先生

ありのままの相手に  
敬意を持つ、尊重する

これが意味するところです。



あなたは、あなたのままで尊重される



教師と生徒



生徒同士

尊重・リスペクトがベース

教師(大人)と生徒(子ども):立場上、上下関係はあっても

生徒同士、先輩後輩:学年という上下関係はあっても



お互いが「尊重」「配慮」し合って  
「持ちつ持たれつ」の関係性が基本



みんなは、多様性の時代を生きる

自分のこと  
自分の周りのこと

先生たちも  
しっかり考えたい

